



発行者

諫早市立真城中学校  
校長 山内 昇

## 学校教育目標

- 広い心と公正な判断力のある、情操豊かな生徒を育成する。（**德育**）
- 自ら求めて学び、豊かな知性を備え、創造力に富む生徒を育成する。（**知育**）
- 健康でたくましく、忍耐力に富む生徒を育成する。（**体育**）

### ○ 真城中学校人権集会を開催しました！

人権集会、そして、世界人権デーの12月10日（水）に、真城中学校人権集会を開催しました。

今年度は、長年、人権教育に携わってこられた、傳均（つたえ ひとし）さんを講師としてお招きして、様々な観点から人権について考える講話をしていただきました。

講話の中で、「左手のこぶしをスケッチしよう！」という時間がありました。素直な生徒たちは、一生懸命にスケッチをします。そこで、「気づいたことはありませんか？」という問いに、何名かの生徒が手を挙げました。自分が気付かないうちに多数派となり、少数派を嫌な気持ちにさせていることがあるという例を、体験を交えながら、分かりやすくお話をしていました。また、生徒による寸劇から、様々な気付きを引き出し、日常生活の中にある様々な人権問題について考えるよい機会となりました。傳さん、本当にありがとうございました。

講師の傳さんは、県教育委員会など、大人を対象とした人権学習にも講師として招かれることが多く、人権教育のエキスパートともいえる方です。傳さんのお話を聞くことができたことに感謝します。



人権集会の中で、各学年から人権に関する標語が紹介されました。なお、3年生は、男女共同参画推進をテーマにしたものです。

- ・その行動 イジりじゃなくて イジメかも  
1年 小川 さん
- ・ともだちは 絆をつなぐ 宝物  
1年 波江 さん
- ・関係が その一言で 崩れてく  
2年 中里 さん
- ・決めないで 見えてる姿が 全部じゃない  
2年 福井 さん
- ・「女だろ?」 関係ないよ 人間だ  
3年 射場 さん
- ・人と人 性別違えど 同じ人  
なのにどうして 隔て合うのか  
3年 森永 さん
- ・その仕事 どうして私が やらなくちゃ  
別に君が やってもいいじゃん  
3年 嶋田 さん

集会の最後に、真城中学校人権宣言を、代表の生徒が大きな声で読み上げ、「人権」を守る取組について、全校生徒で確認をしました。この宣言は、非常に大切な宣言なので、確実に実践することができているかを、必ず振り返ってほしいと思います。

### 令和7年度 真城中学校人権宣言

私たちはみな、生まれながらにして自由であり、性別や障害の有無などによって差別されるべきではありません。自分と異なる考えをもつ人がいても、互いに理解し、助け合い認め合うことが必要となります。周りの人も、自分自身も、誰もが大切な一人です。私たちは人権学習で学んだことを生かし、真城中学校を、「誰もが輝ける学校」にします。そして、誰もが未来への一歩を踏み出せる学校となるためにここに宣言します。

- 1 私たちはお互いを尊重し合い、共に高め合います。
- 1 私たちはあらゆる差別をなくし、みんなが安心して過ごせるようにします。
- 1 私たちは困ったときにはひとりで抱えこまず、助けを求め、他の人と支え合います。

令和7年12月10日 真城中学校生徒一同



## ～人権集会に寄せて～

(校長講話)

今年の真城中学校のスローガンは、「輝継」です。4月に「輝継」を「天の川」に例えてお話をしました。たくさんの星の輝きが集まり、そして流れになり、大きな川、天の川を形作る。人権の取組も同じだと思います。

人権集会は、真城中だけでなく、長崎県内、日本中の多くの学校が、世界人権デーに合わせて、人権について学び考える取り組みをしています。私たち真城中学校の取り組みは決して大きなものではありませんが、日本中のたくさんの学校が人権について考え方行動し、その思いを束ねていくことで大きな力となり、世界をも動かす力へとなっていく信じています。先日の生徒会選挙もそうですが、1人は1票しかもっていません。しかしその1票1票が集まることで大きな力になります。

真城中のスローガンである、「輝継」も、人権についての取り組みも、多くの学校の長年にわたる取り組み・活動が天の川のように、未来へと続していくもの信じています。

しかし、これだけ、「人権」について取り組んでいるのに、私たちにとって一番身近で大きな人権問題である「いじめ」は、なかなかなくすることはできません。令和6年度、全国で「いじめ」として確認されたトラブルは、769,022件です。私たちの力で、全国のいじめを0件にすることは難しいですが、真城中のいじめを0件にすることはできるはずです。また、真城中が、天の川の中で一際、眩しい輝きを放てば、他の学校にとって目標、目指すべき姿になることできるはずです。

そのために、真城中のみなさんが今日からできる行動を、3つ紹介します。

- ・あいさつをする (+スマイル)
- ・相手の立場になって考え、ちがいを否定せず受け止める
- ・困っている人に気付き、ひと言声をかける勇気をもつ

これを実践するだけで、学校の雰囲気は大きく変わると思います。そしてその変化は、みなさん一人一人の行動から始まります。

人権週間、人権集会の取組を通して、一人一人の実践力を高め、行動する力を身につけて、生徒の皆さん、生き生きと、自分の目標に向かって学び、努力し、将来の夢をつかむことができる、そんな真城中学校を目指していきましょう！

☆文化委員会が制作した12月のパネルです！

力作です！校門横の掲示板でサンタが微笑んでいます！

